

平成 25 年度  
性差医学試験問題  
【3 年次生】

1. 試験実施日時 平成 26 年 2 月 24 日 (月)  
午前 10 時 ~ 12 時  
※11 時以後退出可。

2. 一般的注意  
a) 机の上には筆記用具, 時計以外は置かないこと。  
b) トイレなどで退室の許可を得たい時や質問の際には、無言で挙手すること。  
c) 携帯電話は電源を切っておくこと。

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

問題1 正しいのはどれか。

- a. 脳は構造的に左右対称である。
- b. 脳は機能的に左右対称である。
- c. 心的回転課題(Mental rotation task)の正解率には性差がない。
- d. 迷路学習課題は空間認知能力をはかる指標の一つとして用いられている。
- e. 心的回転課題(Mental rotation task)は言語処理能力をはかる指標の一つとして用いられている。

問題2 誤りはどれか。

- a. ヒト脳内には性的二型核が存在する。
- b. テストステロンは脳の雄性化に関与する。
- c. 脳の性分化の臨界期は動物により異なる。
- d. 平均的に男性の脳よりも女性の脳の方が重い。
- e. テストステロンは性的二型核において細胞死を誘導または抑制する。

問題3 「ホルモン」を中国語で何と呼ぶか、正しいものを選び。

- a. 動子
- b. 激素
- c. 発興元
- d. 昇促精
- e. 中国語にホルモンに相当する用語はない。

問題4 平成25年度は3年生系統講義「性差医学」のなかで、精神医学講座から一コマ講義を担当した。正しいものを選び。

- a. 講師は女性だった。
- b. 講師は白衣を脱いで講義をした。
- c. うつ病と女性ホルモンに関する講義だった。
- d. スライドのみ使用し、紙資料は一切配布しなかった。
- e. パソコンの調子が悪く、スライドは使用せず、黒板で講義をした。

問題5 前立腺肥大症の患者が訴える症状として頻度の多いものはどれか。

- a. 尿勢低下
- b. 尿線分割
- c. 排尿後尿滴下
- d. 昼間頻尿
- e. 尿失禁

問題6 メッシュ手術中の写真を示すが、この症例で下垂している臓器はどれか。

- a 膀胱
- b 尿道
- c 子宮
- d 直腸
- e 肛門



問7 次の文のかっこの中に入れる後として正しいのはどれか。

「米国 Institute of Medicine は、( ) レベルの性差を研究すべきであると提言している。

- a 細胞
- b 分子
- c 遺伝子
- d 動物種
- e ミトコンドリア

問8 誤っているのはどれか

- a 糖尿病が強く疑われる者は、男性よりも女性に多い。
- b 男性のほうが、女性よりも若くして糖尿病になる。
- c 女性の糖尿病発症抑制に、性ホルモンが関わっている。
- d 糖尿病発症に内臓脂肪が関わっている可能性がある。
- e レプチンは性ホルモンによる調節を受ける。

問9 性差医学とはどのような学問かについて、400字以内で説明せよ。

(十分に説明されていれば、記述は短くてもかまわない)